



友達、親戚、家族、兄弟姉妹、このレターを讀んでくださる皆さんへ

2024年9月1日

皆さん、元気でしょうか？皆さんが元気にして
おられることを、心から願っています。

そして、これまでこのレターで讀んでくださった
たゴスペル「イエス・キリストにある永遠の命の
良い知らせ」を、お中元のように、「ありがとう」と
皆さんが心に受け取り、皆さんの心が、永遠の
希望で元気にされていることを、心から願って
います。

西成でのコンサート

私は、この歌「ホームレス」をいつも歌う軽い
調子で言った。「皆さんの中で、ホームレスの方
おられますか？」

「お前、どこで、だれに、それ、言ってるかわ
かっているか?!」

その時、自分の歌のことだけしか考えていなか
った私は、自分のいる場所とか全く考えないでそ
う言った。言ったその言葉を、後で友達に指摘さ
れて……「げーッ」ですよ！それでも、イ
エス様が、人々に語ってくださるようお願いして
います。

「ホームレス」

1 (折り返し)

家を持ってても ホームレス
天国行かなきゃ ホームレス
家はなくても 天国は

誰でも入れる ホームです

- 2 駅の3番ホームじゃなく
年寄りが集まるホームじゃなく
どっかの工務店のホームじゃなく
天国がみんなのホームです

- 3 隣のおじさんが言ってたよ
「死んだら終わりさ！」て言ってたよ
「しかし、なんだか怖くてやな気持ち、
もし、天国があるなら行きたいよ！」

(折り返し)

- 4 引っ越しするときあ出る前に
行き先知らなきゃ ホームレス
この世の人生終わる時
行き先知らなきゃ ホームレス

- 5 病気や痛みのない所
涙 悲しみ ないところ
恐れや 憎しみ ないところ
それが天国のホームです

- 6 金がなくても 天国は
ただで入れるホームです
すべての罪をイエス様に
赦してもらえれば 天国人

7 子供のように 心から
神に 罪を詫びる時
目から鱗が落ちたように
天国の門が見えてきた

(折り返し)

8 別荘を持ってても ホームレス
天国行かなきゃ ホームレス
マンションなくても 天国は
誰でも入れる 君も入れる
二度と死なない ホームです

西成でのコンサートの経緯、S牧師を通して

(ここに書く内容は、S牧師に聞いたことから書いたもので、一つの出来事から次の出来事までの時間は、わかりません)

コロナの何年前からだったでしょうか、私は、大和高田市のある教会に呼んでもらって、数回伝道コンサートをさせてもらいました。柔らかかで、優しく、小さい声で(私よりはるかに小さい声、私の3分の1くらい……笑)話すS牧師さんにそこで初めて会いました。

その教会で、最後にコンサートをやらせてもらった後(4年前頃)、しばらくして、S牧師は交通事故に遭い、入院。その後、心の状態も弱くなり、牧師としての働きをしばらくやめて、施設で療養生活が始まりました。その後、メンタル的には回復したものの、事故からの影響で肉体的には全く弱ったままでしたが、しばらく牧師の働きに戻りました。しかし、その後、今度は脳血栓になり再び入院。右半身が麻痺状態になりました。それが、7月の終わりか、8月初め頃だったようです。S牧師は何年間もの長い試練の中におられました。

私が彼から連絡を受けたのは脳血栓をわずらうほんの少し前だったと思います。そのような大変



S牧師と。脳血栓のあった後、西成ライブの2日前、8月12日

な状況にあるS牧師が、大阪西成区でホームレス支援専門のローゼス教会という教会で労しているF兄弟を私に紹介してくれたのです。私はこれまで、西成のことを少し聞いてはいましたが、自分がその場所でイエス様を歌ったり話したりすることをイエス様が導いているようには感じていませんでした。私は、その場所がどのような所かも、ほとんど知らなかったのです。

その後、Fさんから連絡があり、彼からその場所と、そこに集まる人々のことを少し聞かせてもらい、私の心は、そこで歌わせてもらいたい願いと喜びを強く感じ、そして、そこで歌わせてもらうイエス様の時が来たように感じました。その後、そこにある西成市民館講堂でのコンサートをするようFさんから頼まれました。いくつかの教会から数人ずつ集まった10数人のクリスチャンが、毎週水曜日に、一緒に公園(三角公園)に出掛けて行って、集まってくる人々に、彼らはイエス様を歌ったり話したりしてきたのです。私のコンサートの日も、彼らが3階の講堂を準備してくださり、私はイエス様を歌わせてもらいました。そこに来た人の何人がその地域の人かわかりませんでした。30人くらいの方が聞きに来てくれました。その内の半分以上がクリスチャンだったかもしれませんが……。新しく、イエス様を聞いてくれた人たちが、続けて、イエス様を知りたい願い

を持ってイエス様を求めるよう願っています。

イエス様の御旨なら、これから先も、西成で、イエス様を歌ったり話させてもらいたい願いが与えられています。後になって気付かされたことですが、今回、西成で初めてやらせてもらったコンサートを、すでに数年前からそこで伝道している皆さんと一緒にやらせてもらったのは、西成のことを全く知らない私にとって、大きな助けと励みでした。また、皆さんと親しく楽しい交わりの時となり、今回の西成でのコンサートがイエス様の御旨であったことを改めて思いました。

今、このレターを書いている最中に、Fさんから、メールがあり、私が、西成あいりん地区にある「救霊会館」でコンサートをさせてもらう許可が出たと知らせがありました。イエス様、ありがとうございます。

「憩いの広場アイボリー」

去年の11月、滋賀県安曇川（あどがわ）のSさんが、元料亭だった2階の畳の部屋でクリスマス・コンサートを計画してくれました。以前のレターに書いた、そのコンサートに来られた3人の年配の男性方のことを、皆さんは覚えておられるでしょうか？

この3月、その3人をお呼びして春のバーベキューと聖書を読む会を計画。始める前から雨が降り出し、野外バーベキューじゃなくて、Tさんの家を解放していただいてやった「室内バーベキュー会」エーッ？ けむりがあ〜！ 聖書を読む時間はありませんでしたが、話は十分弾みました。イエス様、ありがとう。

その3人のうちの一人の方を通して、京都東山安井にある「憩いの広場アイボリー」を知ることになった。その方はBさん。Bさん自身もこの3月からアイボリーのホームページを作成するためにそこで働きは決めた方。なんと、そのBさんが私をアイボリーのオーナーさんとマネージャーさんに紹介してくれたのです。えーっ？ それは、Bさ

んが、会って間もない私を信頼してくれたから？ 感謝。

アイボリーの場所は、昔はたいそう立派な写真館で、オーナーさんのお父さんは、京都に来た皇室の方々も撮影していたという。写真館は息子さんに引き継がれましたが、しかし、その後、その場所を改装して、引きこもりの人々を支援したいという願いで、誰でも話したい人が来れる、また、誰でも、音楽や歌、そのほか何か皆に発表したいことがあれば、気楽に使ってもらえる場所として提供する、そのためにオープンしたのだそうです。嬉しい。余談ですが、アイボリーのすぐ前の歩道を歩く人は、日本人よりも外国からの観光客の方が多いみたい。お店の前のバス停で待ってる外国人、そこに停まるバスの中のいっぱい外国人、歩いてる人を、ボーっと見てると、マジ、「ここどこ？」てな思いになるくらい、外国人じゅう、そこらだらけ！

アイボリーでのライブ

私の大学のK先輩夫婦と彼らの友達夫婦、ブルグラスのマンドリンを弾くヒデマンくん他、全部で20人くらいの方が集まってくれた。コンサートが終わって2日後、夕方、アイボリーに私のPAを取りに行ったら、オーナーのKさんとマネージャーのSさんが中で待っておられ、「帰国されるたびに、どうぞ、ここでコンサートをしてください」と、丁寧に私に言ってくれました。私は、



京都東大路通りにある「憩いの広場アイボリー」

そのお二人と、そこを紹介してくれたBさんを入エス様に感謝しました。

優しいイエス様が、皆さんの心を、イエス様のゴスペル=永遠の命の望みで満たし続けてくださいますように。アーメン。

人の日は 蟬のよう

「お前、もう一回翔ぶか？」

今回もやられて、奮い立たされた私は、また書くことにした。

帰宅したら、玄関のドアの前のセメントに、アブラゼミが1匹仰向けになっていた。ちょっと見てたけど、全く動かない。死んでる？全部「お脚あげ」したギザギザに人差し指で触れたら、ゆっくりとギザギザを私の指に引っ掛け、からませた。「まだ生きてる!!」ウレシイ——!! 左手に乗せ替えて台所に。右手をぬらし、パツ、パツ、と指を広げて蟬の顔や体に何度も水をかけてやった。すると、「ビツ！」と1回、短く鳴いた。それから、そいつは、ゆっくりと私の手のひらを歩きはじめ、手から落ちそうになった。右手を左手の前に添えてやったら、右手に乗り移りそのまま止まらないで進む。また左手を添えてやって、その上に乗った時、そいつの顔を私の顔のすぐ前に持ってきて、いつものご対面。真面目で、真剣？威厳があるって言うか？神の創造のわざをすぐ目の前に、私は、全く圧倒される。そいつは私の顔を見てる。動かない。

「お前、飛びたい？飛べるか？もう一回翔ぶ

か？」私？すでに泣いてる。セミはまた歩きはじめた。私は、窓のそばに行きサッシを開け、あいつに山を見せた。友達が山で、命の限り歌ってる。「お前、あれ、聞いてるよな。お前、もう一回翔ぶか？」と、私が言い終わったと同時に、あいつは力強く舞い上がって、林の中に消えて行った。「よかったな。」涙が止まらない。私たちも、あいつのように最後まで、何度でも、舞い上がって飛ばさせてもらいたい！イエス様、よろしくお願いします。」と、心が叫んだ！

すると、今現在、闘病しておられる、私が知ってる方々のことを、一人一人思い出して考えていました。

「イエス様、病の中で進んでいる方々をあわれんで下さい。心を力づけ、励ましてください。それぞれの人の病を癒して、喜ばせてください。どうか癒しの恵みを与えてくださって、あなたの栄光を現してください。

あなたの恵みの奇跡の力で、皆さんの心を、あなたと一緒に舞い上がらせ、大空を飛ばさせてください。その重い病の中から、皆さんの心を、あなたのくださる平安と慰め、永遠の命の喜びで、大空を駆け巡らせてください。そして、この世に、あなたを知らせてください。皆さんを祝福してください。よろしくお願いします。ありがとうございます。」アーメン。



9月のLIVE Information

9月のライブの予定です。会場で皆さんに会えるのを楽しみに待っています。

9月8日

主イエス恵愛教会

春日井市南下原町 3-5-8

0568-85-9632

ザ・デイ / 森繁 昇

〒744-0019 山口県下松市桜町2丁目17-24

FAX▶ 0833-91-6492

E-mail▶ thewindisblowing@hotmail.com

振替口座▶ 01330-4-93687 ザ・デイ

Noboru Morishige

P.O.BOX 1666

KEAAU, HAWAII 96749 U.S.A

TEL ▶ 808-966-9252